

## 目的

先に本学会にて、K女子短大寮における食事別、季節別、食品栄養調査結果を報告したが、今回さらに各食品群別栄養素比率および食料費について検討したので報告する。

## 方法

前法と同じK女子短大寮、学生数約30人、3食とも寮で調理喫食している。対象は昭和60年4月-61年3月、264日分の献立。摂取各食品について、エネルギーおよび栄養素14項目を4訂食品成分表により算出、これを18項目の食品群にまとめ、荷重平均成分値を求めた。同時に各食料費についても18項目の食品群別に集計した。なお、食品構成、食料費については昭和50年度との比較をあわせ行った。

## 結果

1) 食品栄養摂取量を60年度全国非農家世帯平均値と比較すると、摂取食品では、いも類、豆類、野菜類、魚介類が低く、乳類、穀類、菓子類、砂糖類が高くなっている。摂取栄養量はたん白質、糖質、Na、VB<sub>1</sub>、VB<sub>2</sub>、VCが低く、エネルギー、脂質、VAが高い。なお、Fe、Caが既報58年度調査より減少し、所要量を下まわった。

2) 食品群別栄養素比率では全国非農家世帯比率と類似の傾向を示しているが、本調査は穀類へのたん白質、乳類へのCa、VB<sub>2</sub>、油脂類へのVAの分布が高率となっている。食料費は魚介類22%が最も高く、肉類、果実類の14%、穀類の12%がこれについて高い。

3) 本学寮における50年度調査との比較では、摂取食品で菓子類、果実類が約2倍に増加、砂糖類、脂類、豆類、肉類は20%以上の減少を示した。一方、食料費は1日総計1070円で50年度の約1.6倍に増加し、特に砂糖類、嗜好飲料、果実類、菓子類費などは2倍以上の高額になっている。